令和２年　女子選出試合マニュアル

目次

目次 1

Ⅰ　試合の流れ 2

＜試合前＞ 2

＜試合当日＞ 2

道場提供校の場合 2

道場使用校の場合 4

＜通常の試合（2 校＞ 6

＜三つ巴の場合＞ ..... 8.

＜同中競射の場合＞ 9

Ⅱ　追加事項 10

Ⅲ　その他注意事項 13

Ⅰ　試合の流れ

~~＜試合前＞~~

~~審判・道場使用校は、道場提供校に電話をかけ下記の事項を確認する。~~

1. ~~拝礼時間~~

2. ~~更衣時間~~

3. ~~道場までの交通手段・所要時間~~

4. ~~練習的の数・的の間隔~~

5. ~~試合時間の確認（変更の場合）~~

今回は，本連盟から連絡を行います。当日の審判員と各校責任者の集合場所，集合時間をご返信お願いします。基本，すべての試合で各校，各回共通の集合時間，集合場所になると思われますので，初回の連絡のまま２回目３回目も実施したいと思います。時間変更・場所変更等ありましたら適宜連絡をお願いします。

＜試合当日＞

道場提供校の場合　（各参加校）

1. 挨拶に間に合うように、安土を整備し、練習的を立てる。

2. ~~道場使用校が到着したとき~~

・~~整列をして挨拶を受け、当日の責任者は看的小屋への行き方、矢拭き場所を説明~~

２　審判員が到着したとき。

９時半に整列挨拶。（自校使用なので審判員（学連役員）のお迎えのみ。9 時半集合。）（挨拶・整列に関しては，審判と各校責任者のみで行う。今後も特に明記しないが，整列・挨拶等に関しては以上の通りで行う。）挨拶後，道場に到着し次第，審判員と各校責任者で両者の検温シートの確認及びチェックシート記入を行う。

3.　試合開始 20 分前

・試合用的を立て、持ち的確認~~をしてもらう。~~をする。

※掃き矢判定の問題にもなるので、正しく的を立てること。

4.　試合中

・邪魔にならないように控えにて待機。密にならないように。（枠打ち、的の転倒等のトラブルに対処するため）

5.　試合終了後

~~・拝礼終了後、外で整列し、挨拶を受ける。~~ 審判員と各参加校で挨拶。

~~※女子の場合、午前中に試合をした大学が帰った後、午後試合のために安土を整えて練習的を立てる。~~

~~※午前の試合が長引いた場合、付矢時間（1 時間 30 分）の確保のため午後の試合時間を遅らせる必要がある。12：30 までに道場提供校が判断し、その旨（試合が終わっていない、道場整備が間に合わない等）を仮設本部まで連絡すること。試合校、審判校への連絡は学連役員が行う。~~

※15時半開始の試合の際、女子の試合が長引いた場合、付矢時間（1時間30分）の確保のため午後の試合時間を遅らせる必要がある。12時半までに女子の審判員である連盟役員が判断し、その旨（試合が終わっていない、道場整備が間に合わない等）を仮設本部まで連絡すること。男子の試合校、審判校への連絡はその場の学連役員が行う。

※試合に用いる的はビニール的ではなく紙的を使用すること。付矢に関してはビニール的

を使用してもよい。　　（平成 30 年度決定事項）

道場使用校の場合

時間厳守！！

服装：正装（スーツ・袴）

1.　道場到着時

・~~道場提供校と対戦校に挨拶をし、~~拝礼を済ませた後、更衣・準備をして練習に入る。

~~（相手校が後に来た場合、すぐに整列し挨拶する。相手校の拝礼時には待機しておき、~~

~~拝礼終了後、練習を再開する。）~~

2.　練習中

・~~普通は射場を前半分、後半分で使用する。~~

~~矢取りの際、相手校の責任者に申し出て取り掛けを待ってもらう。~~

射場の扱い，矢取りは各校の方式に一任。

3.　試合開始 20 分前

・~~道場提供校による~~的替えを行うため練習を終え、道場の外に出る。

（持ち的確認に間に合うよう、道場に戻る。）

4.　試合開始

・審判の号令で整列し、指示に従って立順届（**選手名の横にフリガナをふること**）の交換・提出を~~行い、試合の先攻・後攻を決める。~~行う。（女子の試合は同時なので先攻後攻は関係なし）

・~~先攻の大学は~~速やかに準備し試合を開始する。　１１時半開始厳守

・自校の看的・確認・矢取り・黒板付けは自校で行う。

~~※対戦校は行射中に看的小屋に的前監査をおくこと。（ただし、特別の理由のある場合を除く。☆的前審判に関する規則第６条）~~（的前監査は，原則参加校で実施。的中判定が難しい場合は主審が判定を行う。）

5.　試合中

・選手交代は５射目から可能。

立の交代前に立順変更届（**選手名の横にフリガナをふること**）を審判校と相手校に提出する。※規約第 75 条１項・第 76 条（審判員（学連役員）は，各立記録を伝達すると同時に立ち順変更届もあれば伝達する。）

・選手交代の人数制限はないが、**選手交代後の再出場・引きなおしは認めない。**

※規約第 75 条２項・３項

・各校は立ちの交替前に、選手交代を審判員および相手校に書面で通知すること。

通知しない場合、当該者の引いた射を失中とする。（規約第 76 条）　（審判員（学連役員）は選手交代を必ず伝達すること）

※原則、審判員からの選手交代通知の要求はしないこととする。

6.　試合終了後

・速やかに正座し、審判の号令で整列する。~~試合終了後の挨拶の後、拝礼・更衣の順を両校責任者が決める。~~

・その後、道場提供校と挨拶し帰る。

※不明な点は、学連役員に質問または相談してください。

規約における競技規則・リーグ戦マニュアルにそぐわない場合、罰則を科す場合があります。※規約第 12 章

※ 備考

女子~~試合の場合、午前中~~の試合が延びて午後~~の試合~~にずれ込むことがある。使用校には学連役員から連絡がいくので、その指示に従い臨機応変に対処する。

（付矢時間：1 時間 30 分）

＜通常の試合（2 校）＞

1. 試合開始

・整列の号令前に、両校責任者（主将）に試合開始の了承を得る。

「少々お時間が早いようですが、試合を始めさせていただいてよろしいでしょうか。」

「お時間となりましたので、試合を始めさせていただいてよろしいでしょうか。」

（対戦校同士の審判員（学連役員）同士が連絡をうまく取り合い，**11 時半試合開始**が可能なよう声掛けをすること）

・試合の号令

主審「~~両校~~ご整列願います。」

主審「只今より、~~平成~~令和○○年度~~男子~~（女子）地区推薦大学弓道大会選出試合~~リーグ戦第○戦~~、○○大学対○○大学の

試合を執り行います。~~試合に先立ちまして、両校主将は、立順の交換、ならびに提出をお願いします。~~試合に先立ちまして，立順を表示します。（各校割り当ての役員が，スマホの画面上で各校の主将に提示で代わりとする。）（よって，事前に審判員は立ち順用紙を撮影しておく）」

（審判は、立順届提出の際、~~審判推薦状を両校に手渡す。~~審判推薦状は連盟役員なので，省略で可）

~~主審「試合の先攻、後攻は規約により、矢振りによって決定させていただきます。~~

~~両校主将はじゃんけんをお願いします。」~~

~~（副審は、じゃんけんの後、矢筒から矢を少し出して、甲矢と乙矢の確認をじゃんけんで勝った方からしてもらう。両校の確認が終わったら、一旦、矢を取り出し、今度は筈を下にして矢を入れ、蓋をする。ついで、矢筒を背中に回し、よく振る。その後、矢を段違いに少し出し先程のじゃんけんで勝った方の大学から引いてもらう。この際、甲矢を引いた方が先攻、乙矢を引いた方が後攻となる。）~~

~~主審「只今の矢振りの結果、先攻○○大学、後攻○○大学と決定いたしました。尚、この試合は、全日本並びに関西学生弓道連盟規約にのっとって執り行います。~~

~~両校、礼。」~~

主審「ただいまより，試合を行います。同時に試合を行うので，先攻後攻は決めません。この試合は，全日本並びに関西学生弓道連盟規約および各種選出試合の書類にのっとって執り行います。」

2．試合終了時

主審「~~各校~~ご整列願います。只今の試合の結果、~~先攻~~○○大学○中、~~後攻~~○○大学○中、

よって、○○大学の勝ちとします。~~各校、礼。」~~

＜三つ巴の場合＞

1. 試合開始

通常の試合の流れと同じ。

審判「~~各校、~~ご整列願います。」（以後、各校と呼ぶこと。）

審判「只今より、~~平成~~令和○○年度~~男子~~（女子）~~リーグ戦順位決定戦（入替戦）~~地区推薦大学弓道大会選出試合、○○大学対

○○大学対○○大学の試合を執り行います。・・・（以下通常の試合と同様。）」

~~審判「試合の先攻・中攻・後攻は、規約により抽選によって決定させていただきます。~~

~~各校主将はじゃんけんをお願いします。」~~

~~（じゃんけんで勝った順に封筒を引く。）~~

~~（各校主将は順番を宣告する。）~~

~~審判「只今の抽選の結果、先攻○○大学、中攻○○大学、後攻○○大学と決定いたしま~~

~~した。尚、この試合は、全日本並びに関西学生弓道連盟規約にのっとって執り行~~

~~います。各校、例。」~~主審「ただいまより，試合を行います。同時に試合を行うので，先攻中攻後攻は決めません。この試合は，全日本並びに関西学生弓道連盟規約および各種選出試合の書類にのっとって執り行います。」

~~（封筒と紙は、同中競射に備えて回収する。）~~

~~①挨拶「お願いします。」の順番は、中射場校・後射場校が前射場校と挨拶し、中射場校~~

~~が~~

~~方向転換し、前射場校・中射場校が後射場校と挨拶をする。~~

②立ちの進行は、常に同時に行う。~~先攻前立ち、中攻前立ち、後攻前立ち、先攻後立ち、中攻後立ち、~~

~~後攻後立ちの順で行う。（同中競射も同様）~~

2. 試合終了時

主審「~~各校~~ご整列願います。只今の試合の結果、~~先攻~~○○大学○中、~~中攻~~○○大学○中

~~後攻~~○○大学○中、よって（順位の宣言１位・２位・３位）とします。~~各校、礼。~~」

＜同中競射の場合＞

・整列の号令前に、両校責任者（主将）に試合結果を確認する。

主審「試合の結果は、黒板（記録用紙でも可）の通りでよろしいでしょうか。」

・試合終了の整列

主審「~~両校~~ご整列願います。」

主審「只今の試合の結果、~~先攻~~○○大学○中、~~後攻~~○○大学○中、よって同中のため、

只今より一手競射を行います。競射は同時に行います。~~競射の先攻後攻は規約により矢振りによって決~~

~~定させていただきます。・・・・（以降の手順は試合開始時と同じ。）~~」 ※一手競射にて決着がついた場合は試合終了後の手順に移行し、決着がつかなかった場

合は、一本競射を行う。この際も同時に行う。~~この際の先攻・後攻は、先の一手競射の順番を交代して行う。~~

以降、一回ごとに交代し、勝敗が決定するまで一本競射を繰り返す。（このとき、毎

回

両校を整列させてその由を伝える。）~~三つ巴の場合、順番は一つずつずらしていく。~~

~~（先攻①中攻②後攻③ →先②中③後① →先③中①後② →・・・）~~

追記

試合中は，各立終了後，5 分時間を空けて次の立を行う。また，その 5 分の間に審判員（学連役員）から，相手校の記録を伝達される。伝達を受けたら，審判員（学連役員）が黒板に記録を転記する。また，審判員は記録用紙に対戦校のすべての事項を転記する。主審副審と，黒板・記録用紙の転記，タイマー計測を分担すること。

勝敗決定・順位決定戦の同中競射について，関学大が対戦校にある場合，関学大ガイドラインにより，試合終了後 30 分時間を空けて競射を実施する。

同中競射の立ごとの時間間隔は 3 分開けて実施する。また，その 3 分の間で相手校の的中を審判員（学連役員）から伝達される。

時間間隔の計測は，落が射位から退場してからタイマーの計測をはじめ，アラームが鳴る 1 分前に選手には本座にいるようにする。（審判員はアラームが鳴る 1 分前に選手を本座に入るよう促す。）なお，計測は対戦校の遅い学校の落が射位から退場した時点で計測を開始する。時間を合わせるのは，連絡で審判員同士が共有を図ること。

的前監査・看的は原則参加校が行い，的中判定に疑義が生じた場合，判定が難しい場合は主審である学連役員が判定をする。

Ⅱ 追加事項

~~・人数の関係による的前審判（的前監査）業務不可能の場合について~~

~~各大学で人数の関係により、的前審判（的前監査）の業務を行える人がいない大学の主将は、男子リーグは委員長、女子リーグは女子部委員長に試合の 3 日前までにその旨を報告する。この内容を受けて、委員長、女子部委員長から連絡のあった審判校は、主審 1 名、副審 2 名の計 3 名で試合会場へ行き、副審 1 名が申請のあった大学の的前審判（的前監査）業務を行う。~~（的前監査や看的は，参加校が原則実施する。なお，的中判定が難しい場合，疑義がある場合は主審である学連役員が行う。）

☆黒板・点付け簿などは義務ではないので、試合の人数を優先すること。

(平成 18 年度決定事項)

・円陣について　　道場内での円陣は前立の初立を除き禁止。但し、少人数の場合、相手校・審判に申

請し、許可されれば可能。また、確認開始後は道場の内外に関わらず、円陣は禁止。（円陣の際は，マスク着用の上，感染対策を徹底すること。）

(平成 20 年度決定事項)

~~・試合における異性の参加について~~

~~異性による仕事、介添え、応援は原則禁止とする。但し、学連と相手校の承認がある時のみ仕事、応援は許可する。~~

~~(平成 21 年度決定事項)~~

~~・流行性の病気により試合ができなかった時の対応について~~

~~当初の試合予定日においてどちらか片方の大学が参加不可能となった場合は予備日に延期する。~~

~~また予備日においても試合が中止になった場合は、A校とB校の試合において、当初の予定日にA校、延期後の予備日にB校が参加不可能となってしまった場合は引き分け、共にA校が参加不可能となった場合はA校の不戦敗とする。~~

~~順位決定戦、入替戦では試合不可能な大学の不戦敗とする。~~

~~(平成21年度決定事項)~~

・双眼鏡の持参

・監査の方法

・メール 会場校が~~試合校~~対戦校を to に、委員長・女子部委員長を cc にいれて送信する。

委員長メアド　kangakuren.incho@gmail.com

女子部委員長メアド kansai.girls.incho@gmail.com

・台風マニュアル

・持ち的確認 上座で問題を処理した後下座へ

両校が2度同じ的（複数可）について異議申し立てをした場合は審判に一任する。

Ⅲ その他注意事項

・台風や暴風雨の場合

交通機関の麻痺で到着が不可能になった場合を除き（この場合でも学連仮設本部に連絡)、とにかく試合会場まで行く。その上で当該校主将と審判は協議し、試合開始または続行不可能の判断を下す。どちらにせよ、協議結果を至急、学連仮設本部に審判が連絡する。

※審判が会場に辿り着けない場合

審判は試合校および仮設本部責任者に連絡すること。各試合校が 1 名ずつ審判を出し合い、試合を執り行う。(学連仮設本部に連絡)

※審判が遅れて到着する場合

試合校両校から各 1 名ずつ出して審判を行い、審判到着次第業務を引き継ぐ。

もし試合が終了しても辿り着くことができなかった場合、主審担当校が仮設本部に結果報告をし、副審担当校が審判校に試合終了を連絡する。

※試合校が会場に辿り着けない場合

審判と相手校に連絡すること。学連には審判が連絡すること。

・地震が起こった場合

審判と両校の 3 者協議を行い判断を下す。(審判はその結果を学連に報告)

※試合校が遅れて到着する場合

それが 30 分以上なら開始時間をずらす。もし 1 時間以上なら予備日に移すこととする